



## 第3回岡山地方会 活動報告

テーマ：「代行入力」

開催日時：平成30年6月2日（土）14:00～17:30（開場13:30）

会場：岡山済生会総合病院 管理棟4階 さいゆうホール

### 開会の挨拶

岡山済生会総合病院 院長代理 塩出 純二

岡山済生会総合病院 院長代理 塩出純二先生より、岡山県支部顧問代理として、開会のご挨拶をいただきました。

116名の参加者が集まったことに対して医師事務作業補助者の意識の高さへの驚きと、職種としての期待や激励を述べられました。



### 事例報告



- ・岡山協立病院 山田 ゆかり 氏
- ・岡山済生会総合病院 難波 美智子 氏
- ・岡山旭東病院 児玉 沙織 氏
- ・渡辺病院 西村 有未 氏

上記4施設の実務者から事例発表があり、各医療機関での代行入力業務の紹介や取り組みなどについて報告が行われました。

質疑も活発に行なわれ、関心の高さを感じました。

最後に、渡辺病院の遠藤 彰 院長先生からも一言ご挨拶いただき、自院で日頃医師事務作業補助者によって助けられていること、他院から来られる非常勤医師からの評価によって改めて良さを再認識した経験などが語られました。



### グループワーク

テーブルごとにテーマ「書類作成」「代行入力」「教育」「マネジメント」等を設定し、興味があるテーブルに自由に移動（40分×3回）していただき、多くの実務者と情報交換・交流を行ないました。発表の時間はあえて設けていないことから、県内外からの116名の参加者全員で率直な意見交換が活発に行なわれました。「自由な意見交換ができて良かった」「毎回悩みを共有できて励まされます」「地方会に参加するたびにモチベーションが上がります」と喜びの声が多く聞かれました。



## 閉会の挨拶

NPO 法人医師事務作業補助研究会 理事 武田まゆみ



宮崎県の潤和会記念病院より武田まゆみ氏にお越しいただき、挨拶を頂戴いたしました。当研究会の活動内容、職能団体化や資格化への取り組み、キャリアパスなどについて述べられました。

## 閉会の挨拶

NPO 法人医師事務作業補助研究会 岡山県支部長 近藤祐加

岡山旭東病院 医療秘書課 主任の近藤祐加より開会の挨拶を行いました。岡山県支部の活動への思いを伝えるとともに、多くの関係者、参加者への感謝の気持ちを述べました。

岡山県は医師数が全国で第5位となっていますが、それでも医師の時間外労働は少なくありません。働き方改革や時間外労働規制という言葉を日々耳にする中、今以上に病院内の効率化を図り、勤務医がより診療に専念できるよう職場環境を整えることが急務です。同時に、私たち医師事務作業補助者自身の実務能力や生産性も上げていくことも必要です。職種として確立し職能団体化を目指すためにも、研究会の活動を通して、地域全体でレベルアップを図っていききたいとの思いを伝えました。

また、7月・8月に開催される「人材育成を成功に導くセミナー」、9月の全国大会、11月の第4回岡山地方会について案内し、第3回岡山地方会を締めくくりました。

## 地方会を通して

平成28年9月に岡山県支部を発足後、3回目の開催となることから、関係者のみなさまのご協力をいただきながら準備を重ねてまいりました。

医師事務作業補助体加算が新設され11年目になりましたが、まだまだ医療機関によって業務内容や範囲、レベルに差異があるのが現状です。第3回岡山地方会は、前回のアンケート結果で要望が多かった「代行入力」をテーマとしました。今回は、会員47名、非会員62名、世話人7名の計116名の参加がありました。実務者だけでなく、医師3名、事務長や配置管理者、これから外来診察室へ代行入力者配置を予定している医療機関からも参加がありました。地域の医師事務作業補助者同士で気軽に情報交換・共有ができ、アンケート結果からは満足度の高さが伺え、充実した時間となりました。

次回、第4回岡山地方会は平成30年11月10日（土）を予定しています。テーマは「診断書」です。保険会社の方をお招きし、書き方のポイントなども含めご講演していただく予定です。今後も、今回のアンケート結果をもとに、より実りある地方会開催に向けた企画・運営に努め、同じ医師事務作業補助者同士の交流を深める場を提供するとともに、職種の発展に繋がる活動を継続していきたいと思っております。

報告者：一般財団法人操風会 岡山旭東病院 近藤 祐加